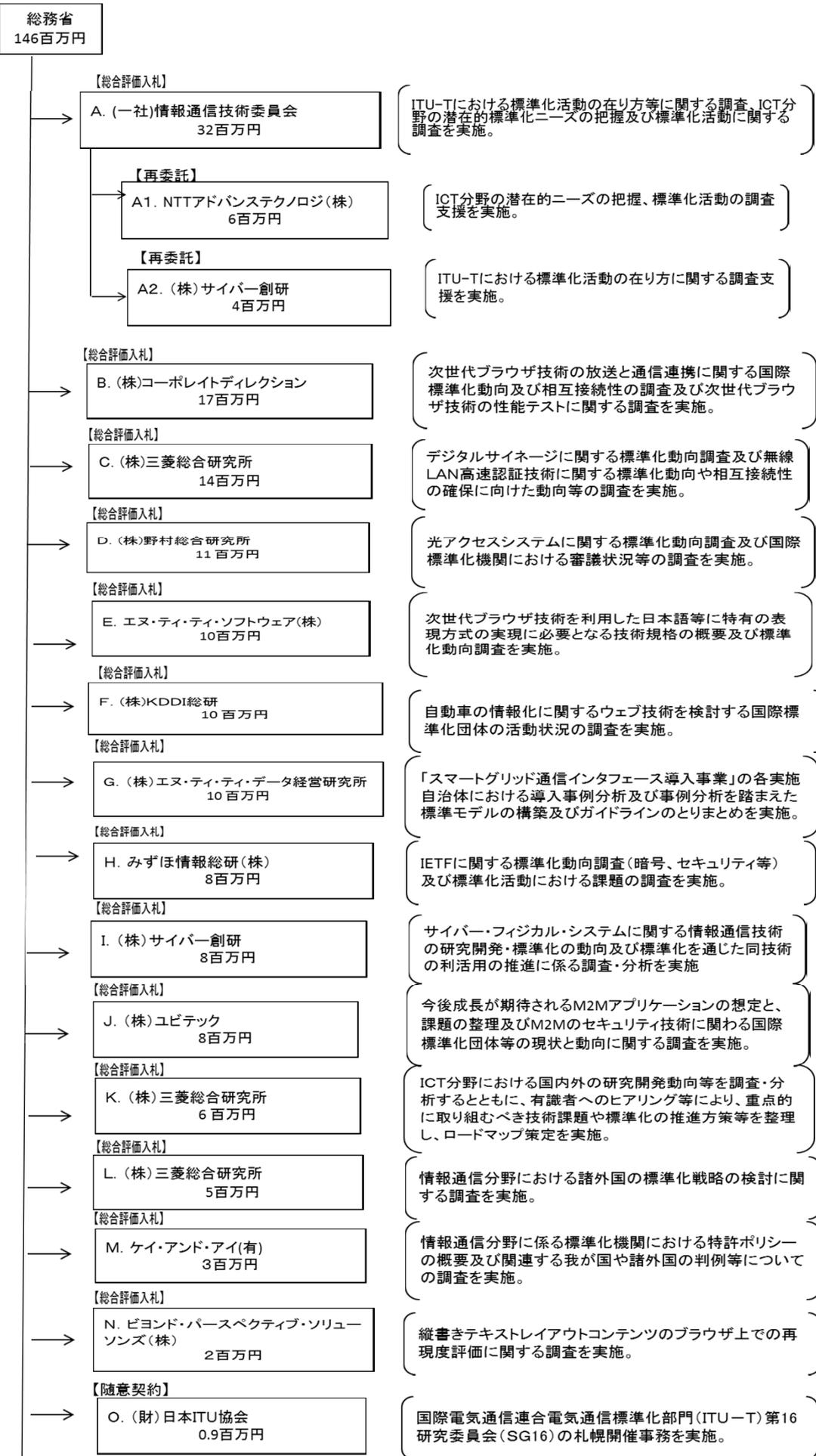


平成27年度行政事業レビューシート (総務省)

事業名	情報通信分野における戦略的な標準化活動の推進			担当部局	情報通信国際戦略局		作成責任者	
事業開始年度	平成16年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	通信規格課		課長 藤田 和重	
会計区分	一般会計			政策・施策名	V-1 情報通信技術の研究開発・標準化の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条第74号			関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> ・知的財産推進計画2015(平成27年6月知的財産戦略本部) ・「情報通信審議会答申「情報通信分野における標準化政策の在り方」について(平成24年7月25日答申) ・「ICT国際競争力強化・国際展開イニシアティブ」(ICT国際競争力強化・国際展開に関する懇談会最終報告書)(平成26年6月) 			
主要政策・施策	IT戦略			主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	グローバルな市場や技術発展の状況を踏まえつつ、情報通信技術の便益を利用者に適切に還元する観点から、戦略的に国際標準化活動を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国における標準化政策の在り方を検討する際の基礎資料として活用するとともに、具体的な標準化提案の検討を目的として、知的財産戦略本部や総務省情報通信審議会等において取り上げられた重点分野に関する国内外の標準化動向等に関する調査等を実施。							
実施方法	委託・請負							
予算額・執行額 (単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	166	166	161	141	160	
		補正予算	0	0	0	0		
		前年度から繰越し	0	0	0	0		
		翌年度へ繰越し	0	0	0	0		
		予備費等	0	0	0	0		
	計		166	166	161	141	160	
	執行額		164	165	146			
執行率(%)		99%	99%	91%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 年度
	標準化寄与提案件数6件以上	寄与文書数	成果実績	件	5	6	6	
			目標値	件以上	6	6	6	6
			達成度	%	83%	100%	100%	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載 <input type="checkbox"/> チェック								
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	調査研究の契約件数	活動実績	件	12	11	14		
		当初見込み	件	12	9	13	10	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	調査研究契約金額/標準化寄与提案件数	単位当たりコスト	百万円	32	27	24	22	
		計算式	百万円/件	162/5	160/6	144/6	132/6	
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.7	0.6	情報通信審議会「情報通信分野における標準化政策の在り方」答申や「ICT国際競争力強化・国際展開イニシアティブ」において挙げられている標準化に関する重点分野について、より一層、戦略的に国際標準化活動を推進する必要があるため増額要求				
	委員等旅費	0.2	0.2					
	情報通信技術研究開発調査費	140.1	159.2					
計	141	160						

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	情報通信ネットワーク等に係る国際規格を我が国主導で策定・統一することにより、情報通信技術の便益を利用者に適切に還元することが出来るため、国民や社会のニーズを的確に反映しつつ、戦略的に国際標準化活動を推進している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	ITU(国際電気通信連合)への標準化活動は国が投票権を有しており、国が主導的に取り組む必要がある。また、フォーラム活動等については、フォーラム等で策定された標準がITUで追認されることが多いことから、重点分野については国が主導的に実施する必要がある。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	本事業は、知的財産戦略本部等で重点分野に選定された事項の標準化活動に関する調査であり、優先度が高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	国内外の標準化動向調査等について一般競争入札で実施しており、競争性は確保されている	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	25年度に比して単位当たりのコスト削減となっている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	検査職員を任命し、用務が使用目的に即し、適正に実施されるよう管理している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	より競争性を高めるために、仕様書の調査内容を分かりやすい表現にする等工夫をしている。また、落札業者と定期的な打合せを行い、総務省から必要な指摘を行うことにより、一層効率的かつ適切な予算執行に努めている。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果目標に照らし、十分な成果実績が得られている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	効果的な方法で実施しており、また、25年度に比して単位当たりのコスト削減となっている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動指標の見込みを上回る活動実績が得られている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	調査研究の成果を知的財産戦略本部における標準化重点分野の標準化戦略の改訂等に活用するとともに、当該成果を使って我が国からの提案内容を検討し、ITU等での議論に反映させた。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	本事業では、国内外の標準化活動や情報通信技術の開発動向等の調査を行い、標準化提案文書作成のための基礎資料として活用している。26年度においては、国際標準化機関への提案活動の推進として、6件についての規格策定支援を行うとともに、1件あたりの策定支援に必要なコストを削減している。			
	改善の方向性	本事業の調達方法については、総合評価落札方式による競争入札を行い、予算の効率的な執行に努めるとともに、請負業者と定期的に打ち合わせを行い、総務省から必要な指摘を行うことにより、引き続き適切な予算の執行に努めていく。また、入札にあたっては、より競争性を高めるために、仕様書の調査内容を分かりやすい表現にする等努めていく。			
外部有識者の所見					
-					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の一部改善の	更なる経費の効率化を図り、適正な予算執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	所見を踏まえ、平成27年度においても、総合評価落札方式による競争入札を行い、引き続き、受託者が外注する際の複数社からの見積もり取得の徹底等、更なる経費の効率化を実施。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	0038	平成23年度	0050	平成24年度	0053
平成25年度	0059	平成26年度	0057		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

【随意契約】

→ P. (財)日本ITU協会
0.8百万円

国際電気通信連合電気通信標準化部門(ITU-T)局長
訪日対応事務を実施。

【随意契約】

→ Q. (株)エサップ
0.02百万円

情報通信審議会ITU部会電気通信システム委員会の記
事録作成を実施。

【随意契約】

→ R. (有)エス・シー・エス
0.02百万円

海外出張に伴う事務経費

【委員等旅費】

→ S. 情報通信技術の標準化に関する会合
構成員等(外部専門家・外部有識者3名)
0.06百万円

情報通信技術の標準化に関する会合に出席した外部専
門家・外部有識者への旅費支払を実施。

費目・使途 <small>(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)</small>	A.(一社)情報通信技術委員会			E.エヌ・ティ・ティソフトウェア(株)		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	調査、検討会対応、公募調査、報告書作成業務等	20	人件費	調査・分析・報告書作成等	7
	再委託費	調査業務支援等(NTTアドバンステクノロジー(株)、(株)サイバー創研)	10	会議開催費	事前準備、会場準備、印刷費、事務費等	2
	会議運営費	会場費、謝金、旅費、印刷等	2	旅費	海外標準化団体対応等	1
	計		32	計		10
	B.(株)コーポレートディレクション			F.(株)KDDI総研		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	調査・分析・報告書作成等	14	人件費	調査・分析・報告書作成、会議運営、イベント企画・運営等	7
会議開催費	会場準備、事務費等	2	会議開催費	会場準備、印刷費、事務費、講師謝礼等	2	
その他	印刷費、通信費等	1	旅費	海外標準化団体対応等	1	
計		17	計		10	
C.(株)三菱総合研究所			G.(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所			
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)	
人件費	調査、検討会委員謝金、報告書作成、打合せ等	14	人件費	スマートグリッド通信インタフェース導入とその標準化に向けた諸課題に関する調査等の請負一式	10	
計		14	計		10	
D.(株)野村総合研究所			H.みずほ情報総研(株)			
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)	
人件費・謝金	研究員、検討会委員謝金等	8	人件費	調査・分析・報告書作成等	7.1	
その他	トルコ要人招聘費、検討会運営、資料・報告書印刷等	2	会議開催費	会場準備、印刷費、事務費等	0.3	
海外調査費	旅費・通訳代等	1	旅費	海外標準化団体対応等	0.6	
計		11	計		8	

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一社)情報通信技術委員会	ITU-T等における標準化活動の強化に資する調査	32	1	92.3%
2	NTTアドバンステクノロジー(株)	ICT分野の潜在的ニーズの把握、標準化活動の調査支援	6	—	—
3	(株)サイバー創研	ITU-T標準化活動の在り方等に関する調査支援	4	—	—

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)コーポレイトディレクション	放送とインターネットの連携における次世代ブラウザ技術の相互接続性に関する調査	17	2	99.6%

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	公共空間等における電子的表示機器を活用した情報伝達基盤技術及びワイヤレスネットワークにおける情報通信の高速認証基盤技術に関する調査検討	14	2	95.7%

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)野村総合研究所	光アクセスシステムにおける国際標準化を活用した実用化等に関する調査検討	11	2	93.6%

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エヌ・ティ・ティ・ソフトウェア(株)	次世代ブラウザ技術を利用した日本語等に特有の表現方式の標準化に向けた調査検討	10	1	99.4%

F

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)KDDI総研	自動車の情報化に関するウェブ技術の標準化等に関する調査検討	10	2	87.4%

G

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	スマートグリッド通信インタフェースの導入とその標準化に向けた諸課題に関する調査	10	2	73.8%

H

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	みずほ情報総研(株)	インターネット環境における通信プロトコル、暗号技術の高度化等に関する標準化動向に関する調査検討	8	2	99.9%

支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	I.サイバー創研(株)			M.ケイ・アンド・アイ(有)		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	人件費	調査・分析、報告書作成等	8	人件費	調査・分析・報告書作成等	3
	計		8	計		3
	J.(株)ユビテック			N.ビヨンド・パースペクティブ・ソリューションズ(株)		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	人件費	M2Mにおける情報セキュリティ技術の標準化に関する調査検討一式	8	人件費	調査・分析・報告書作成等	2
計		8	計		2	
K.(株)三菱総合研究所			O.			
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
人件費	調査・分析・報告書作成等	6				
計		6	計		0	
L.(株)三菱総合研究所			P.			
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
人件費	調査・分析・報告書作成等	5				
計		5	計		0	

I

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)サイバー創研	サイバーフィジカルシステムに関する情報通信技術の研究開発・標準化の動向及び標準化を通じた同技術の利活用の推進に係る調査・分析	8	1	69%

J

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ユビテック	M2Mにおける情報セキュリティ技術の標準化に関する調査検討	8	4	96.9%

K

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	情報通信分野の研究開発戦略に係る調査・分析、ロードマップ作成等に関する調査	6	2	90%

L

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	情報通信分野における諸外国の標準化戦略の検討体制及びその国際比較に関する調査	5	4	89.7%

M

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ケイ・アンド・アイ(有)	情報通信分野における標準必須特許の課題に関する調査	3	8	39.9%

N

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ビヨンド・パースペクティブ・ソリューションズ(株)	次世代ブラウザ技術を利用した縦書きテキストレイアウトコンテンツの再現度評価に関する調査検討	2	2	97.6%

O

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本ITU協会	国際電気通信連合電気通信標準化部門第16研究委員会(ITU-T SG16)の札幌開催事務	0.9	少額随契	-

P

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本ITU協会	国際電気通信連合電気通信標準化部門(ITU-T)局長訪日対応事務	0.8	少額随契	-

Q

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エサップ	情報通信審議会ITU部会電気通信システム委員会の議事録作成	0	-	-

R

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)エス・シー・エス	海外出張に伴う事務経費	0	-	-

S

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	外部専門家・外部有識者への旅費支払	0.1	-	-
2	個人B	外部専門家・外部有識者への旅費支払	0	-	-
3	個人C	外部専門家・外部有識者への旅費支払	0	-	-